

# 広がる！広げる！みんなの市民共同発電所・被災地編 ～おひさまが取りもつご縁の復興支援～

市民発電所が勢いづいてきた今日この頃、「市民共同発電所サポートセンター」の紹介と岩手県は野田村での「市民共同発電所」の取り組みを紹介します。岩手県から「野田村だらすこ市民共同発電所」代表・佐々木明宏さんを迎え、この春募集が始まった「復興支援 野田村だらすこ太陽光市民ファンド」についての紹介も行います。野田村にある「だらすこ工房」を中心に地元のお父さん達が故郷再生のため立ち上がりました。地震と津波の被害から共同発電所建設に乗り出すまでの道のりと苦労、地元の人が愛してやまない野田村の魅力、太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)の「市民共同発電所サポートセンター」との出会い等、ここでしか聞けないお話が盛り沢山です。サポート全般を行うPV-Net「サポートセンター」から都筑建事務局長、出資取扱を担当する株式会社アイエムジェイ 島田政実代表、市民発エネルギーシフトを目指し世田谷で活動されているトランジション世田谷茶沢会 浅輪剛博さんに佐々木明宏さんを迎え、4名の座談会も行います。本当の意味での復興支援とは？ これからの市民ファンドの可能性とは？ 地域を巻き込む仕組みづくりとは？ エネルギー自立社会実現の可能性を探ります。

野田村だらすこ市民共同発電所 佐々木明宏(岩手)  
太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)都筑 建  
株式会社アイエムジェイ 島田政実  
トランジション世田谷茶沢会 浅輪剛博

## 4月26日(金)

今、野田村について東京で熱く語ろう…

一回目(昼の部14:00~16:00)/  
【下北沢】世田谷区立男女共同参画センターらぶらす研修室3  
(世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール11階)

二回目(夜の部18:30~20:30)/  
【三軒茶屋】世田谷産業プラザ3F 小会議室  
(世田谷区太子堂2-16-7)

昼夜 共：入場無料

問い合わせ：事前03-5805-3577 当日090-4753-3010 /事務局



## 「野田村だらすこ太陽光発電所」

設置場所：岩手県九戸郡野田村大字野田第7地割118の8

敷地面積：3,813m<sup>2</sup> 設備容量：48kW 資金調達方法：匿名組合方式

只今全国から、この野田村市民共同発電所へのファンド参加者を募集しております。  
[本書は契約締結前交付書面(重要事項説明書)ではありません。]

野田村市民共同発電所  
応援団  
絶賛募集中!!

### ●6月8,9日/野田村ツアー開催決定!!

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」ロケ地にもなっている

野田村の今を知ることのできるまたとない機会です。



野田村・ファンド・問い合わせ等 裏面へ→

# 「復興支援 野田村だらすこ太陽光市民ファンド」

発電所建設に市民ファンドを活用することで、被災地を元気にしていきます。

野田村のエネルギー自立に向けた最初の取り組みとなるのが、48kWの発電所の建設。1口10万円の市民ファンドで建設資金を募り、その後14年間にわたって出資者に対し、元本償還と配当を行っていく仕組みです。ファンドの配当目標は1%。現金または、野田村の特産品で支払われます。特産品配当を選べば、商品を通じて、より一層、被災地の応援につながります。なお、15年間の契約終了後には、太陽光発電設備は野田村に寄贈します。

市民ファンドを通じて、“野田村の応援団”になってください！



市民ファンド参加時に別途お支払いいただく応援金2,500円は、だらすこ工房の職人さん手づくりの木工製品へと変わり、みなさまのもとに届けられます。

本ファンドは、市民共同発電所をきっかけに、被災地での仕事づくりにまでつなげ、出資者と被災者の架け橋となるプロジェクトです。野田村には、豊かな自然とともに歩んできた伝統と文化など、多くの魅力が育まれています。ぜひとも、市民ファンドを入り口に地元で奮闘するお父さんたちが大事にしてきた村の歴史と文化の応援団になってください。みなさまとの交流が必ずや復興の力となることでしょう。



マスク  
キャラクター  
「のんちゃん」

## 野田村ってこんなところ

海がくれるおいしいごちそう、自然と歴史が育んだ塩の文化、初めてなのに懐かしい風景。野田村にはたくさんの宝物があります。ぜひ遊びに来てください！



冷たい親潮と暖かい黒潮がぶつかり合っているため、エサとなるプランクトンが豊富です。この環境で育ったホタテは大きく肉厚で、ほかのホタテとはひと味もふた味も違います。

築160年の南部  
曲り家民宿 &  
カフェ「苫屋」。  
宿にはテレビも  
電話もなく、予約は  
なんとハガキか  
手紙のみ。  
野田村にはこうし  
た歴史・文化に  
触れられる施設が  
数多く残ります。



窯に薪をくべて、海水を数日間煮詰めて作る「のだ塩」は、江戸時代、盛岡や雫石、鹿角地方まで運ばれ、米やアワなどの穀物と交換されました。牛の背に積んで運んだことから、行商人は「野田ベコ」の名で親しまれました。



約3.5kmのゆるやかな砂浜が続く「十府ヶ浦（とふがうら）海岸」陸中海岸国立公園のなかの一つで、名勝歌枕ゆかりの地です。

市民ファンドサポートセンター専用ホームページ  
<http://www.peoplefund-support.com>

＜お問い合わせ先＞

発電事業者: 合同会社 野田村だらすこ市民共同発電所 TEL:03-5805-3577/東京都文京区湯島1-9-10湯島ビル602  
NPO法人 太陽光発電所ネットワーク 市民ファンドサポートセンター内  
市民出資募集取扱: 株式会社アイエムジェイ TEL:03-6228-0025/東京都新宿区新宿7-25-1アクティビュー新宿1,404  
(第二種金融商品取引業者 関東財務局長(金商)2490号)

本資料は、商法535条に規定する匿名組合契約の締結を目的として合同会社野田村だらすこ市民共同発電所及びNPO法人太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申し込みの際には、重要事項説明書の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断下さい。本匿名組合は元本及び利益分配が保証されているものではありません。なお、本ファンドの募集取り扱いは、株式会社アイエムジェイ(第二種金融商品取引業者)が行います。